

ディ ブ ロ マ ・ ポ リ シ ー	2つの力		人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力								
	6つの能力		知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力		発想・構想力	表現力					
	内容		自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる		感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる					
学科別 内容			自分を取りまく人間、社会、自然を「よく観る／よく聴く」能力や習慣を用いて観察し、映画制作や演技その他の自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	さまざまな領域や要素から成る総合的な芸術である映画制作やそこの演技の実践・研究を通じ、異なる価値観を持つ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	映画制作や演技の基盤となる「よく観る／よく聴く」能力や習慣、つねに周囲の社会との接点を意識する姿勢を、社会の多元的な理解や観察、現代社会の課題を見出すために活用できる。制作や研究の成果を広く発信し、自らの学びや表現、技術を社会のために活かすことができる	所与の知識や情報をもとに、社会（映画＝テキスト）を成り立たせる諸現象を、常識や固定観念にとらわれることなく分析＝批評的に吟味することができる制作や研究、演技を通して分析的かつ論理的な思考を展開することができる		感性的な直観や主観的な表現への欲望を、理性的かつ客観的な分析や思考から得られた発想に統合し、具体的な制作や研究、さらには社会の課題解決に結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な表現媒体や形式に落とし込むための検証や実験を重ね、共感を生み出すことのできるかたちで可視化し、世に問うことができる					
学年	Q	段階	専門科目（必修）		専門科目（選択）	芸術教養科目（必修）		芸術教養科目（選択）※履修推奨						
4		16	卒業研究・制作（8単位） 卒業研究の制作・完成から発信までを行う											
		15												
		14									プリプロダクション2（2単位） 卒業研究の制作を開始する			
		13									プリプロダクション1（2単位） 卒業研究の企画をもとに準備を始める			
3	12	応用	進級研究・制作3（4単位） 3年次の学修成果の振り返り、卒業研究・制作に向けた課題の探究											
	11		映像と社会2（2単位） 映画、映像を巡る世界的状況を考え、様々な視点からその未来を探究する	演技応用2（2単位） 俳優事務所との契約に繋がるためのスキルを磨く	プロデュース演習2（2単位） クライアントワークスー要望に対して魅力的な企画を提案する									
				演技応用1（2単位） 俳優や演技トレーナーから、演技のテクニックを学ぶ	映像と社会1（2単位） 映画の近接領域を学び、様々な視点から映像の歴史を振り返り、考察する	キャリアアプランニング2（2単位） 3年次の学修成果を元に、卒業研究・制作や進路に繋げるプレゼンの実施	映画表現探求4（2単位） 長編映画の編集（その実践と考察により、映画表現をさらに探究する）	映画表現探求3（2単位） フィルム撮影（フィルムからデジタルへ、これからの映像表現の考察）						
	10		映画表現探求2（2単位） ポストプロダクション（映画表現、技術を深め、可能性を広げる）			フィールドワーク1（2単位） 社会の「仕事」や、地域の「課題」をリサーチし、問題を探る	キャリアアプランニング1（2単位） 映画の学びを仕事に繋げる上での具体的準備に入る			映画総合演習3（2単位） 中編映画・広告映像・脚本・研究論文の仕上げ				
							作品研究3（2単位） 映画研究発展2―映画を通して「社会」の課題を考え、リサーチする							
9		就職対策特講（1単位） インターンシップ・就職活動に向けて、準備&実践する						映画総合演習2（4単位） 中編映画・広告映像・脚本・研究論文の制作、執筆						
2	8	基礎	進級研究・制作2（4単位） 2年次の学修成果の振り返り、映画総合演習における課題の探究											
	7		キャリア研究応用（1単位） 自己と職業への理解を深め、インターンシップの準備と実践を行う	演技・演出3（2単位） 表現の追求ーパフォーマンス			作品研究2（2単位） 映画研究発展1―映画における「物語」の探究			映画表現応用2（2単位） 映画における各専門領域を発展レベルで学ぶ				
			映画表現基礎2（2単位） 「領域（第一専攻）」とは異なる領域を学び、映画表現の理解を深める			演技・演出2（2単位） 演技の追求―映像の中に存在するもう一人の自分	作品研究特論（2単位） 映画やドラマを読み解き、様々な創作のプロセスを学ぶ	映画総合演習1（2単位） 中編映画・広告映像・脚本・研究論文の企画立案、準備						
			現代社会概論（1単位） 日本社会や世界の事象をリアルタイムで考える											
			写真概論（1単位） 「写真」というメディアムについて考える											
			音と芸術特論（1単位） 西洋音楽を芸術史・文化史の中で考える											
	6		環境科学（1単位） 地球環境問題を科学的視点でとらえなおす							演技基礎2（2単位） 現代アクションを学ぶ 短編演習2（2単位） 短編映画の編集、音の仕上げならびに公開の準備を進める				
			現代アート2（1単位） 現代アート理解：1970年代以降、現代までの美術の歴史	演技・演出1（2単位） 演技者、演出者がお互いの感覚を知り、そのありようを見つめ直す			演技基礎1（2単位） 映像演技の考察―スタニスラフスキー・システムから映像演技を紐解く							
			美学（1単位） 世界を概念により直感と感性によって認識することの意味を考える			作品研究1（2単位） 映画研究応用2―「テーマ」や「作家」に沿って映画を考察する								
						映画表現応用1（2単位） 映画における各専門領域の応用を学ぶ								
	5			現代アート1（1単位） 現代アート理解：20世紀前半-1960年代頃まで						短編演習1（4単位） 短編映画の制作準備、撮影、撤収、ラッシュまでを完結する				
				表象文化特論（1単位） 視覚文化を理論的に考察するために基本的概念を学ぶ										
1	4	入門	進級研究・制作1（2単位） 1年次の学修成果の振り返り、短編演習における課題の探究											
	3		アカデミックライティング（1単位） 研究・制作のためのレポート・文章の書き方を学ぶ			映画表現基礎1（2単位） 映画における各専門領域の基礎を学ぶ	作品研究基礎1（2単位） 映画研究基礎―映画を批評的に「観る／聴く／書く」ための方法論を学ぶ	演技入門2（2単位） 表現者としての発声―心地よい発声を探究する	演技入門1（2単位） 演技の本質―スタニスラフスキー・システムの基礎訓練から学ぶ					
			アカデミックリサーチ（1単位） 研究・制作のための調査と情報収集の方法を学ぶ	映画制作入門3（4単位） 映画制作の流れを学び、短い場面を表現する	映画概論2（2単位） 「映画と社会」-映画業界の構造やそれらを取り巻く問題の検証									
				キャリア研究基礎（1単位） 理想の学生生活・将来設計（進路）をつくる	芸術と社会（1単位） 芸術による社会変革の可能性を考える									
	2		芸術教養論（1単位） 大学での学び方を学ぶ	映画制作入門2（4単位） 映画制作における各専門領域の入門的な学びと実践			作品研究入門2（2単位） 映画研究入門2―映画／映像の歴史について入門的な知識を学ぶ							
			デジタル基礎（2単位） コンピューターを活用し、映画制作に必要なデジタル技術の基礎を学ぶ											
1		映画概論1（2単位） 映画を作ることとは何か？―各専門領域との対話を入口に	映画制作入門1（2単位） 「よく観る／よく聴く」ことを通じて、映画作りを思考し、探究する	芸術立国論（1単位） 京都芸術大学を学ぶ	作品研究入門1（2単位） 映画研究入門1―映画を批評的に「観る／聴く」ための入門能力を養う									
		情報リテラシー（1単位） 情報を活用するうえでの基礎知識を修得する												